

第45号
平成24年
8月
HPに 創刊号から
連載中

もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意
深く徐々に試してください。

山田整骨院
熊本市中央区出水4-25-1
096-364-7611

<http://yamadasu.com/>

熊本交通事故、山田整骨院

検索

<http://www.jiko-kumamoto.net/>

随想 西医学ノート 小屋 寿
昭和27年 10月号 月刊 西医学

1 清水を飲む場合一度にガブガブ飲むと、水が早速に吸収されて、血液が急激に淡められる。このため、腎臓は急いでこの水を排除して、血液の濃度を正常に保とうとするから、水を飲むと、すぐ小便に行くのである。この場合、チビリチビリと、即ち1分1g主義、30分おきに30g宛を飲むことを励行するならば、血液に急な変化が起こらないから、水は血液と共に全身を循環し、全身四百兆と云われる細胞一つ一つに悉く供給せられ、それが綺麗に洗われ、老廃物が排除せられ、組織は若返り、皮膚は健康色を回復するのである。しかし、もしもその人が、真の健康体であるならば、肝臓が一時的に急速に飲んだ多量の水を貯蔵し、必要に応じてこれを血液中に供給するからこういう時は水を随時、随所に、飲めるだけ飲んでよいのである。しかし、そういう作用の衰えている人でも、30分おき30g主義、一カ月半くらい励行すると、組織がその健康を回復し、肝臓の機能も正常となるから、それから飲みたい時に、飲めるだけ飲んでよいのである。水を飲んで、すぐ小便に行く人は、30分30g主義を励行する必要にある人である。

2 発熱した時は、水の蒸発が激しいから、清水の供給を忘れてはならない。この外に水を飲むことによって、体内の毒素を体外に出すことになる。尿の色が茶色とか、褐色を帯びるのは、清水の不足を告げている証拠である。故に尿の色のなくなるまで、充分の清水を飲まねばならぬ。夏季、発汗の激しい時は、これを補わぬと、尿に色がつく。この際、われわれは身体が清水の必要を訴えていると解せねばならぬ。食塩やビタミンCの補給も、同時に行う必要なことは論をまたない。…略…

4 水泳は、全身が水につかっているから、発汗の割に飢渴を覚えない。それは皮膚から水分を吸収しているからであろう。われわれの皮膚は、これに接するものを吸収する作用がある。…略…水中で泳いでいるとき、体に接する水は、当然体内に吸収されねばならない。しかし、この事は無限に進行するものではなく、体内に、水分が不足している時は、この吸収は激しく、不足していない時は、さほど吸収しない。飽和している時は、吸収がゼロであることは、勿論であろう。

5 皮膚から、ものを吸収する性質は、われわれがその発祥に於いて、単細胞生物

であった時代からの習性である。単細胞生物は、その細胞膜から栄養を吸収し、生活によって生じた老廃物を排出している。高等生物は、栄養器官として、口腔から肛門までの消化管を有するが、これは要するに皮膚の連続である。食物を、この中に入れて胃液や、その他の消化液を混合して、これを吸収可能な水溶液とし、この中の栄養素は吸収されて細胞生活の原動力とし、カスはこれを肛門に送って、体外に排泄するのである。

6 従って、皮膚に接触するものは、西医学で教ゆる如く、食用として差し支えないものでなければならぬことが、理解できると思う。…略…

7 湿布には、清水か食塩水、温湿布には普通の湯を用いる。味噌湿布、芋葉等、みな食用として差し支えないもののみである。

9 古来、薬は毒だと言われている。毒を以て毒を攻めるのが医療なのである。…略…かかる毒物を、短期ならともかく、長期にわたって使用すれば、副作用の現れることはむしろ、当然である。…略…

11 踝を痛めた時、その部に軽く包帯して、これを清水、又は食塩水にてしめし、乾いた布で良く吸い取り、そのまま寝て、翌朝は完全に治っている。これは、患部に水を供給し、その毒素を血液に流す方法である。総て湿布とは、この原理である。

12 喘息でも…略…肺炎でもインフルエンザでも…略…胸部に冷水の湿布を施すのが良い。ほとんどピタリと止まると言っても過言ではない。元来咳と云うのは、気管枝やその他にある痰を、機械的に放出しようとする現象であって、この際、咳が出なかったら、気管枝は痰が充満して、窒息する恐れがある。故に、咳も症状であり、従って療法であることに間違いはない。

13 痰は、一体自然に出ていくのが正道で、咳などで出すのは権道である。この権道に依らねばならぬと云うのは、そこに水が不足して痰が濃縮され、自然の機構では運び出せないから、咳を用いるのである。つまり、咳が出るのは、水不足なのである。故に、30分おきに30g主義に水を飲み、組織全体に水を万遍なく行き渡るようにせねばならぬ。しかし、これでは時間がかかる。この際…略…胸部に冷水の湿布をすること、一時に水を吸収して、痰が薄くなり流動を始め、ここに咳が止むと考える。又、咳はアルカリ性で、迷走神経緊張症であるから、冷水で冷やすことは交感神経を緊張し、ここに中和を起こして咳が止むとも説明される。…以下略

解 説

西医学は水を薬のように捉えています。空気同様栄養として必須であり、又、いろいろな作用があるからです。薬には副作用がありますが、清水にはありません。眼病には点眼薬より清水での目の洗浄を勧め、ケガした時も、清水でバイキンや汚れを洗い流した後、止血、腫れ、痛みの処置をします。強力に消毒されたプールの水はやはり身体に良くないですね。多少費用が掛かっても対策が必要だと思います。